

ISSN1880 - 7003

東京女子医科大学看護学会誌

Journal of Nursing Research Colloquium of Tokyo Women's Medical University

第6巻第1号 (通巻6号)

Vol.6 No.1

2011

東京女子医科大学看護学会

The Nursing Research Colloquium of Tokyo Women's Medical University

◆目次

総 説

身体化を呈する患者への看護の現状と今後の課題

嵐 弘美 1

看護学研究におけるサルトル哲学の可能性

宮子（藤江）あずさ 7

看護専門学校教員のキャリア形成に関する文献検討

草柳かほる 15

論 説

食物アレルギーによるアナフィラキシーのリスク管理を考える

下川 伸子 柳 修平 23

研究論文

糖尿病患者が食生活において弁当箱法を活用して行った工夫

三浦美奈子 谷本真理子 太田 美帆 竹内千鶴子 尾岸恵三子 31

特定機能病院における看護師の在宅療養支援に関する認識

～経験年数別比較と病棟・外来別比較～

坂井 志麻 中田 晴美 柳 修平 犬飼かおり 服部真理子 大堀 洋子 41

介護支援専門員が退院調整時に医療機関に求める情報共有内容と地域連携のあり方に関する研究

～介護支援専門員の経験年数による比較に焦点をあてて～

中田 晴美 坂井 志麻 柳 修平 犬飼かおり 服部真理子 大堀 洋子 53

臨床経験5年の看護師が捉える「食への援助」とそれに対する思い

田中 瞳 山田 照 野口 恵子 山元由美子 61

看護師が実施する「食への援助」を測定する尺度の開発（第1報）

－調査用紙の開発にむけた調査－

田中 瞳 山元由美子 71

資 料

過去5年間の看護系大学における「看護倫理」教育に関する文献検討

高橋 衣 81

A 看護系大学卒業生のキャリア成熟に関する実態調査

太田 祐子 海老澤 睦 原 美鈴 小川久貴子

諏訪 茂樹 日沼 千尋 佐藤 紀子 久田 満 91

東京女子医科大学看護学会第6回学術集会 会長講演 「自律を支える看護」	東京女子医科大学看護学部 山元 由美子 ……	99
東京女子医科大学看護学会第6回学術集会 シンポジウム 「専門性が自律を支える－自律した生活を送るための手助け－」 住民の健康を支える	掛川市保健予防課 櫻井 郁美 ……	106
がん患者の苦痛緩和と家族への支援 聖隷三方原病院 看護相談室 がん看護専門看護師 大木 純子 ……		107
メンタルヘルス支援の側面から考える看護師の自律の支援 東京女子医科大学看護学部精神看護学 東京女子医科大学病院リエゾン精神看護エキスパートナース 山内 典子 ……		108
特別講演「意識障害者の生活再構築へ向けた看護実践」 意識障害者の生活再構築へ向けた看護実践	静岡県立大学 紙屋 克子 ……	109
市民向け講演「残存機能を助ける－自律を支える新たな取り組み－」 自律を支えるアシスト技術 (株) 本田技術研究所 基礎技術研究センター 及川 清志 ……		110
東京女子医科大学看護学会会則・細則		111
資料1) 平成21・22年度理事会報告、平成22年度評議員会報告、平成22年度総会報告 …		115
資料2) 平成21年度委員会活動報告 ……		120
資料2) 平成22年度委員会活動経過報告 ……		121
資料3) 平成21年度決算 ……		122
資料4) 平成23年度事業計画案 ……		123
資料4) 平成23年度委員会活動計画 ……		123
資料5) 平成23年度予算案 ……		124
資料6) 評議員選挙結果報告 ……		125
資料6) 新評議員 ……		126
資料6) 理事・監事選挙結果報告 ……		127
資料6) 新理事・新監事 ……		128
個人情報保護方針 ……		129
理事名簿 ……		130
評議員名簿 ……		131
委員会委員名簿 ……		132
東京女子医科大学看護学会誌投稿規程 ……		133
学会員の皆様へのお知らせ ……		135
編集後記 ……		136

◆ CONTENTS

General Statements

NURSING FOR PATIENTS WITH SOMATIZATION SYMPTOMS – PRESENT SITUATION AND FUTURE ISSUES

Hiromi ARASHI 1

POSSIBILITY OF SARTRE PHILOSOPHY IN NURSING SCIENCE RESEARCH

Azusa MIYAKO(FUJIE) 7

LITERATURE REVIEW OF CAREER DEVELOPMENT FOR TEACHERS AT NURSING SCHOOLS’

Kaoru KUSAYANAGI 15

Article

RISK MANAGEMENT AS PREVENTIVE MEASURES AGAINST FOOD-INDUCED ANAPHYLAXIS

Nobuko SHIMOKAWA, Shuhei RYU 23

Academic Papers

HOW PATIENTS WITH DIABETES UTILIZE THE LUNCH BOX METHOD TO IMPROVE EATING HABITS

Minako MIURA, Mariko TANIMOTO, Miho OTA, Chizuko TAKEUCHI, Emiko OGISHI 31

HOW NURSES AT SPECIAL FUNCTIONING HOSPITALS PERFORM IN-HOME CARE

-ANALYSIS OF YEARS OF NURSING EXPERIENCE AND COMPARISON OF WARD NURSES AND OUTPATIENT NURSES-

Shima SAKAI, Harumi NAKADA, Shuhei RYU, Kaori INUKAI, Mariko HATTORI, Yoko OHORI 41

CARE MANAGERS’ REQUEST TO HEALTHCARE INSTITUTIONS TO SHARE INFORMATION, AND REGIONAL CARE COORDINATION: FOCUSING ON CARE MANAGERS’ YEARS OF EXPERIENCE

Harumi NAKADA, Shima SAKAI, Shuhei RYU, Kaori INUKAI, Mariko HATTORI, Yoko OHORI 53

REFLECTIONS ON “ASSISTING PATIENTS TO EAT” BY NURSES WITH FIVE-YEAR CLINICAL EXPERIENCE AND ITS REALITY

Hitomi TANAKA, Teru YAMADA, Keiko NOGUCHI, Yumiko YAMAMOTO 61

DEVELOPMENT OF CRITERIA TO MEASURE NURSES’ ASSISTANCE FOR PATIENTS TO EAT (REPORT #1)

INVESTIGATION FOR DEVELOPMENT OF QUESTIONNAIRE

Hitomi TANAKA, Yumiko YAMAMOTO 71

Materials

“NURSING ETHICS ” EDUCATION IN NURSING SCIENCE RELATED UNIVERSITIES : LITERATURE REVIEW OVER THE LAST FIVE YEARS

Kinu TAKAHASHI 81

A SURVEY ABOUT CAREER MATURITY OF UNIVERSITY-EDUCATED NURSES

Yuko OTA, Mutsumi EBISAWA, Misuzu HARA, Kukiko OGAWA,

Shigeki SUWA, Chihiro HINUMA, Noriko SATO, Mitsuru HISATA 91

The Nursing Research Colloquium of Tokyo Women's Medical University, 6th Conference
President's Keynote Speech

CARE TO SUPPORT PATIENT'S AUTONOMY

Yumiko YAMAMORO, Tokyo Women's Medical University, School of Nursing	99
--	----

The Nursing Research Colloquium of Tokyo Women's Medical University, 6th Conference
Symposium : SPECIALIZATION SUPPORTS PATIENT'S AUTONOMY

— ASSISTANCE TO LEAD AUTONOMOUS LIFE —

SUPPORT CITIZEN'S HEALTH

Ikumi SAKURAI	106
---------------------	-----

PALLIATIVE CARE FOR CANCER PATIENTS AND SUPPORT TO THEIR FAMILIES

Junko OOKI	107
------------------	-----

SUPPORTING NURSE'S AUTONOMY FROM THE PERSPECTIVE OF MENTAL HEALTH

Noriko YAMAUCHI	108
-----------------------	-----

Special Lecture : NURSING PRACTICE TO RECONSTRUCT LIVES OF PEOPLE
WITH DISTURBANCE OF CONSCIOUSNESS

Katsuko KAMIYA	109
----------------------	-----

Special Lecture: ASSISTING RESIDUAL FUNCTION

— A NEW TRIAL TO SUPPORT PATIENT'S AUTONOMY —

Kiyoshi OIKAWA	110
----------------------	-----

The Regulations and Detailed Rules of NUREC of TWMU 111

Attachment 1: 2010/2011 Report of the General Assembly, 2010 Reports of the Board of Directors, 2010 Report of the Board of Trustees	115
---	-----

Attachment 2: 2010 Report of Committee Activities	120
---	-----

Attachment 3: 2010 Report of Closing Accounts	122
---	-----

Attachment 4: 2011 Project Plan	123
---------------------------------------	-----

Attachment 5: 2011 Draft Budget	124
---------------------------------------	-----

Attachment 6: Election Report on the Board of Trustees	125
--	-----

Privacy Policy	129
----------------------	-----

Members of a Board of Directors	130
--	------------

Members of a Board of Trustees	131
---	------------

Members of Committees	132
------------------------------------	------------

NUREC, TWMU Submission Guidelines	133
--	------------

Announcement to the NURECO of TWMU	135
---	------------

The Editor's Postscript	136
--------------------------------------	------------

東北・関東大震災の被災者を共に支えましょう

平成 23 年 3 月 11 日、三陸沖を震源地としてマグニチュード 9.0 の地震が発生し、それによって東北地方沿岸部に巨大津波が引き起こされ、多くの方々の生命が奪われました。尊い命を奪われた方々に哀悼の意を捧げます。そして厳しい毎日を送られておられる被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。一瞬にして多くの生命、そして見慣れた風景や生活が根こそぎ奪われた被災者の、それでもなお生きよう、協力し合っのり超えようとする姿には心打たれます。

心が弱くなっている被災者にとって人間関係を一から作り上げることは非常に難しいことであり、それ故なじみの関係性の中で生活することの大切さからコミュニティーをこわさないようにと、地域ぐるみで避難をする町が多く見られました。特に医療を受けている人が他の地域や施設に避難する際には、患者を知っている医師やケアスタッフが同行し、日々のケアを継続して担っていくことの重要性をも示していました。この点は医療者として心しておきたいところです。

震災によって原発事故が発生しています。いまだかつてない原発事故であるため、予測がつかず緊張の日々が続いています。報道は国民を安心させるために情報を流していますが、リスクに対する正確な情報が的確に伝達されず、個人がどのように行動したら良いのか判断する十分な材料を提供してはくれません。このため余計に不安もおおきくなっているようです。

東京においても 11 日の地震により帰宅できない人々が多くみられました。地震発生以来患者や学生の安全を守るために日々努力されておられる会員の方々も多いことと存じます。長期化により疲労も増しているのではないかと案じられます。いまだに余震や計画停電などにより、東京においても買いだめによる物資不足が見られ、通常の生活を営むことが難しい状況です。

厳しい寒さのなか、不自由な生活を強いられている被災者の方々に何もできないもどかしさを感じます。長期化が予測されますので、その中で決して一人ではないこと、みんなが支えていることを実感できるような支援の輪をつくるという覚悟を一人一人が持つことが大切だと考えます。会員の皆様、まだまだ原発は予断を許しませんが、被災地の一日も早い復興を願うとともに、私たち一人一人が被災者のためにできることを無理のない範囲で実行してまいりましょう。

なお学会役員は今年度に任期を終了し、来年度からは新委員により活動が展開されます。会員の皆様のご協力をいただき、ますます活発な学会となりますことを祈念いたしております。

平成 23 年 3 月 22 日

東京女子医科大学看護学会

理事長 水野 敏子

東京女子医科大学看護学会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は、東京女子医科大学看護学会（The Nursing Research Colloquium of Tokyo Women's Medical University）と称す。
- 第2条 本会の事務局を学校法人東京女子医科大学に置く。

第2章 目的及び事業

- 第3条 本会は会員相互の学術的研鑽と交流を図り、看護学の発展を目指すことを目的とする。
- 第4条 本会は第3条の目的を達成するため次の事業を行う。
- (1)学術集会の開催
 - (2)総会の開催
 - (3)会誌の発行
 - (4)その他本会の目的達成に必要な事業

第3章 会 員

- 第5条 本会の会員は次の通りとする。
- (1)正会員
 - (2)準会員
 - (3)賛助会員
- 第6条 正会員とは、本会の目的に賛同し、看護研究、看護教育、看護実践に携わる者で、理事会の承認を得た者をいう。
- 第7条 準会員とは、本会の目的に賛同する、東京女子医科大学看護学部学生、東京女子医科大学看護専門学校生で、理事会の承認を得た者をいう。
- 第8条 賛助会員とは本会の目的に賛同する個人、または団体で、理事会の承認を得た者をいう。
- 第9条 本会に入会を希望する者は東京女子医科大学看護学会入会申込書を本会事務局に提出するものとする。
- 第10条 本会に入会を認められた者は、所定の年会費を納入しなければならない。

- 2 既納の年会費は、いかなる理由があってもこれを返還しない。

- 第11条 会員は、次の理由によりその資格を喪失する。
- (1)退会
 - (2)会費の滞納（2年間）
 - (3)死亡または失踪宣告
 - (4)除名
- 2 退会を希望する会員は、理事会へ退会届を提出しなければならない。
 - 3 本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為のあった会員は、理事会の議を経て理事長が除名することができる。

第4章 役員および学術集会会長

- 第12条 本会に次の役員を置き、その任期は3年とし再任を妨げない。但し、引き続き6年を超えて在任することはできない。
- (1)理事長 1名
 - (2)副理事長 1名
 - (3)理事 6名
(理事長・副理事長を含む)
 - (4)監事 2名
 - (5)評議員 17名
- 第13条 役員を選出は次の通りとする。
- (1)理事長は理事の互選により選出し、評議員会の議を経て総会の承認を得る。
 - (2)副理事長は理事の中から理事長が指名し、評議員会の議を経て総会の承認を得る。
 - (3)理事・評議員は3年ごとに改選する。
 - (4)理事および監事は評議員の中から選挙で選出し総会の承認を得る。
 - (5)評議員は正会員の中から選挙により選出する。選出の方法は別に定める。
 - (6)評議員に欠員が生じた時は、評議員選挙における次点者が、残任期間その任

に当たるものとする。

第14条 役員は次の職務を行う。

- (1)理事長は本会を代表し会務を統括する。
- (2)副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときはこれを代行する。
- (3)理事は、理事会を組織し、会務を執行する。
- (4)監事は、本会の事業および会計を監査する。
- (5)評議員は評議員会を組織し、この会則に定める事項のほかに理事長の諮問に応じ、本会の運営に関する重要事項を審議する。

第15条 本会に学術集会会長を置く。

第16条 学術集会会長は、評議員会で正会員の中から選出し、総会の承認を得る。

第17条 学術集会会長の任期は1年とし、原則として再任は認めない。

第18条 学術集会会長は学術集会を主催する。

第5章 会 議

第19条 本会に次の会議を置く。

- (1)理事会
- (2)評議員会
- (3)総会

第20条 理事会は、理事長が招集しその議長となる。

2 理事会は毎年3回以上開催する。但し、理事の3分の1以上から請求があったときは、理事長は、臨時に理事会を開催しなければならない。

3 理事会は、理事の過半数の出席をもって成立とする。

第21条 評議員会は理事長が招集し、その議長となる。

2 評議員会は、毎年1回開催する。但し、評議員の3分の1以上から請求があったとき及び理事会が必要と認めるとき、理事長は臨時に評議員会を開催しなければ

ならない。

3 評議員会は、評議員の過半数の出席をもって成立とする。

第22条 総会は理事長が招集し、学術集会会長が議長となる。

2 総会は、毎年1回開催する。但し、正会員の5分の1以上から請求があったとき及び理事会が必要と認めるとき、理事長は臨時に総会を開催しなければならない。

3 総会は、正会員の5分の1以上の出席または委任状をもって成立とする。

第23条 総会は、この会則に定める事項のほか次の事項を議決する。

(1)事業計画および収支予算

(2)事業報告および収支決算

(3)その他理事会が必要と認められた事項

第24条 総会における議事は、出席正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第6章 学 術 集 会

第25条 学術集会は毎年1回開催する。

第26条 学術集会会長は学術集会の企画運営について審議するため、学術集会企画委員会を委嘱し、委員会を組織する。

第7章 会 誌 等

第27条 本会は、年1回以上会誌を発行する。

第8章 会 計

第28条 本会の費用は、会費その他の収入をもってこれに当てる。

2 本会の予算は、評議員会および総会の承認を受け、会誌に掲載しなければならない。

3 本会の決算は、評議員会および総会の承認を受け、会誌に掲載しなければならない。

第29条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始ま

り、翌年3月31日で終わる。

第30条 学術集会の会計は独立会計とする。

第9章 会則の変更

第31条 本会の会則を変更する場合は、理事会及び評議員会の議を経て総会の承認を必要とする。

- 2 前項の承認は、第24条に関わらず出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

第10章 雑 則

第32条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は、別に定める。

附則

この会則は、平成16年10月2日から施行する。

この会則の改正は、平成19年10月6日から施行する。

(第13条(3)改正)

東京女子医科大学看護学会細則

- 第1条 この細則は、東京女子医科大学看護学会会則第32条に基づき、東京女子医科大学看護学会の運営に必要な事項を定める。
- 第2条 本会の入会金は3000円とする。
- 2 本会の正会員の年会費は5000円とする。
 - 3 本会の準会員の年会費は2000円とする。
 - 4 本会の賛助会員の年会費は1口20000円とし、2口以上とする。
- 第3条 学術集会企画委員は次の事項を審議する。
- (1)学術集会の形式
 - (2)演題の選定および座長の選出
 - (3)その他学術集会の運営に関すること
- 2 学術集会企画委員は、次の委員をもって組織する。
 - (1)学術集会会長
 - (2)理事1名
 - (3)評議員2名
 - (4)その他学術集会会長が必要と認めた正会員
 - 3 学術集会の研究発表は原則会員に限る。
 - 4 委員長は、学術集会会長とする。
- 第4条 本学会に編集委員会を置く。
- 2 編集委員会は理事会で推薦された5名程度の委員をもって組織する。
 - 3 編集委員長は理事会から選出された理事をもってあてる。
 - 4 編集委員会は、年1回以上会誌の編集および発行を行う。
- 第5条 本学会に広報委員会を置く。
- 2 広報委員会は理事会で推薦された5名程度の委員をもって組織する。
 - 3 広報委員長は理事会で選出された理事をもってあてる。
 - 4 広報委員は本学会に関する情報を発信するとともに、会員同士のコミュニケーションを促進するため以下の活動を行う。
 - (1)ニュースレターの発行
 - (2)ホームページの作成、管理等
- 第6条 本学会に総務委員会を置く。
- 2 総務委員会は理事会で推薦された5名程度の委員をもって組織する。
 - 3 総務委員長は理事会から選出された理事をもってあてる。
 - 4 総務委員は本会の会員管理および事務局運営を円滑に行うために、以下の活動を行う。
 - (1)会員の名簿管理
 - (2)予算管理
 - (3)事務局の運営、業務遂行に関すること
- 第7条 理事会は必要に応じ委員会を設けることができる。
- 2 委員長は理事会で選出された理事をもってあてる。

附則

この細則は、平成16年10月2日から施行する。

東京女子医科大学看護学会理事会報告

(平成 21 年度総会以降の理事会を含む。)

○平成 21 年度

第 4 回 理事会

平成 22 年 3 月 17 日 (水) 17:00 ~ 18:00

議題

- 1) 第 5 回学術集会報告
- 2) 各委員会報告
- 3) 選挙について
- 4) 新入会員・退会者の承認
- 5) 退会届の取り扱いについて
- 6) 次年度理事会・評議員会開催日程

○平成 22 年度

第 1 回 理事会

平成 22 年 5 月 10 日 (月) 17:00 ~ 18:00

議題

- 1) 年間スケジュール
- 2) 各委員会活動報告
- 3) 平成 22 年度予算の確認
- 4) 第 6 回学術集会の進捗状況
- 5) 平成 21 年度決算報告
- 6) 平成 22 年度各委員会活動方針及び予算の確認
- 7) 新入会員・退会者の承認
- 8) 会費未納者の取り扱いについて
- 9) 役員選挙について

第 2 回 理事会

平成 22 年 7 月 23 日 (金) 17:00 ~ 18:00

議題

- 1) 各委員会活動報告
- 2) 第 6 回学術集会進捗状況
- 3) 新入会員・退会者の承認
- 4) 第 7 回学術集会の企画・運営について
- 5) 第 8 回学術集会長決定
- 6) 新役員選挙結果

第 3 回 理事会

平成 22 年 9 月 24 日 (金) 17:00 ~ 18:00

議題

- 1) 各委員会活動報告
- 2) 新入会員・退会者の承認
- 3) 第 6 回学術集会進捗状況
- 4) 平成 23 年度事業計画案

- 5) 平成 23 年度予算案
- 6) 総会プログラムについて
- 7) 第 7 回学術集会会長挨拶
- 8) 第 8 回学術集会会長について

東京女子医科大学看護学会評議員会報告

○平成 22 年度

平成 22 年度 評議員会

平成 22 年 9 月 24 日（金）18：00～19：00

議題

- 1) 会員数
- 2) 理事会・評議員会報告
- 3) 各委員会活動報告
- 4) 第 6 回学術集会進捗状
- 5) 平成 21 年度決算報告
- 6) 平成 23 年度事業計画案
- 7) 平成 23 年度予算案
- 8) 新役員選挙結果
- 9) 第 7 回学術集会会長挨拶
- 10) 第 8 回学術集会会長について

平成 22 年度 東京女子医科大学看護学会 総会 議事録

日時：平成 22 年 10 月 2 日（土） 12:45 ～ 13:10

場所：弥生記念講堂

出席：15 名 委任状：91 名

議長：山元由美子 書記：大沼美穂子

開会：水野敏子理事挨拶

- ・会則 22 条により、山元由美子第 6 回学術集会長が議長となる挨拶があった。
- ・平成 22 年 9 月 30 日現在、会員 235 名であること、本総会出席者 15 名、委任状 91 名との報告があり、総会の成立が確認された。

議事：

I. 報告事項

1. 理事会・評議員会報告

- ・水野理事長より、前回総会後から今回総会前までに開催された、理事会 4 回、評議員会 1 回の活動内容について、報告があった。（資料 1 参照）

2. 各委員会活動報告

1) 平成 21 年度活動報告（資料 2）

- ・各委員より、平成 21 年度の活動報告があった。

2) 平成 22 年度活動経過報告（資料 2）

- ・各委員より、平成 22 年度の活動経過報告があった。

II. 審議事項

1. 平成 21 年度決算報告（資料 3）

- ・佐藤理事より、平成 21 年度決算について説明があった。
- ・伊地知監事代理より、監査報告があった。
- ・質疑はなく、平成 21 年度決算報告が承認された。

2. 平成 23 年度事業計画案（資料 4）

- ・平成 23 年度事業計画案について、水野理事長より説明があった。
- ・質疑はなく、平成 23 年度事業計画案が承認された。
- ・各委員より、平成 23 年度の活動計画案の発表があった。
- ・質疑はなく、平成 23 年度活動計画案が承認された。

3. 平成 23 年度予算案（資料 5）

- ・平成 23 年度予算案が、佐藤紀子理事より説明があった。
- ・質疑はなく、平成 23 年度予算案が承認された。

4. 第 2 回役員選挙結果について (資料 6)

- ・今年度行われた第 2 回役員選挙結果について小川久貴子選挙管理委員長から説明があった。
- ・質疑はなく、第 2 回役員選挙結果について承認された。

5. 第 8 回学術集会長

- ・水野理事長より、第 8 回学術集会長について現在検討中であること、次年度の総会で承認を得ることが報告された。

Ⅲ. その他

1. 新役員について

- ・水野理事長より新理事長として田中美恵子氏、副理事長として小川久貴子氏が選出された旨報告され、承認された。
- ・理事として、嵐弘美氏、海老澤陸氏、掛本知里氏、服部真理子氏、監事として、佐藤とみ子氏、竹内道子氏が紹介され、承認された。
- ・田中新理事長より挨拶があった。

2. 第 7 回学術集會会長

- ・平成 23 年度、第 7 回学術集會会長として、東京女子医科大学看護学部 佐藤紀子氏が紹介された。
- ・第 7 回学術集會会長である佐藤紀子氏から、第 7 回学術集會は、平成 23 年 10 月 1 日 (土)、東京女子医科大学弥生記念講堂において開催する旨、挨拶があった。

以上

平成 21 年度 東京女子医科大学看護学会 各委員会活動報告

編集委員会

1. 東京女子医科大学看護学会第 5 回学術集会報告の学会誌への原稿依頼
2. 東京女子医科大学看護学会誌（第 5 巻第 1 号）の発刊
3. 会員への学会誌配送
4. 学会誌第 4 巻の東京女子医科大学学術リポジトリへの登録
5. 学会誌第 4 巻の医学中央雑誌への登録

広報委員会

1. 第 5 回学術集会の案内と、学会加入の増員を目指し学会の PR 活動
2. ホームページの更新・管理
3. 学会員を対象としたニュースレターを年 2 回発行
4. 広報活動として第 5 回学術集会時にランチョンセミナー「研究で陥りやすい“わな”」を企画・運営した

総務委員会

1. 会員名簿管理
2. 卒業生、修了生、認定修了生他、新規会員獲得に向けた勧誘活動
3. 理事会の開催準備と運営
4. 評議員会開催準備と運営
5. 総会開催準備（総会案内・総会出欠通知確認）と運営
6. 総務委員会記録の管理について
7. 平成 20 年度会計報告書作成
8. 平成 21 年度予算執行管理
9. 平成 22 年度予算案作成

平成 22 年度 東京女子医科大学看護学会 各委員会活動経過報告

編集委員会

1. 東京女子医科大学看護学会誌（第 6 巻第 1 号）の発刊準備
 - 1) 東京女子医科大学看護学会第 6 回学術集会報告の学会誌への原稿依頼
 - 2) 投稿論文の募集活動（終了）
 - 3) 投稿論文の確認および査読依頼（継続中）
2. 学術集会での抄録集（研究発表）のリポジトリ等への登録についての検討

広報委員会

1. 第 6 回学術集会の案内と、学会加入の増員を目指し学会の PR 活動
2. ホームページの更新・管理
3. 学会員を対象としたニュースレターを 1 回発行
4. 広報活動としてトピックスの年度内企画を検討中

総務委員会

1. 会員名簿管理
 - ・新規入会・退会手続き
2. 卒業生、修了生、認定修了生他、新規会員獲得に向けた勧誘活動
3. 理事会の開催準備・運営
4. 評議員会開催準備
5. 総会開催準備
 - ・会員へ総会案内・出欠通知のはがき作成と発送作業
6. 平成 21 年度会計報告書作成
7. 平成 22 年度予算執行管理
 - ・学会員への会費納入の通知文書作成と発送作業
 - ・会員会費管理
 - ・年会費未納者・入会金未納者への対応
8. 平成 23 年度予算案作成
9. 総務委員会記録の管理
10. 第 2 回評議員選挙の準備

東京女子医科大学看護学会平成 21 年度決算

自 平成 21 年 4 月 1 日

至 平成 22 年 3 月 31 日

収入の部

(単位：円)

項目	21 年度予算額	21 年度決算額	増減額	備考
I 会費	1,160,000	1,210,000	50,000	
1 会員会費	1,120,000	1,170,000	50,000	年会費 5,000 × 188 = 940,000 入会金 3,000 × 24 = 72,000 過払い金 5,000 × 2 = 10,000 前年度未納金 29 名分 148,000 20,000 円 × 2 口
2 賛助会員会費	40,000	40,000	0	
II 雑収入	50,000	302,375	252,375	
1 利子収入	0	509	509	
2 学会誌販売	0	4,410	4,410	NPO 医学中央雑誌許諾抄録利用料金
3 その他	50,000	297,456	247,456	学術集会貸与より 100,000 学術集会会余剰金 197,456
III 小計	1,210,000	1,512,375	302,375	
IV 前年度繰越金	373,084	1,735,217	1,362,133	
収入合計 (A)	1,583,084	3,247,592	1,664,508	

支出の部

項目	21 年度予算額	21 年度決算額	増減額	備考
I 総会費	155,000	138,800	16,200	
1 学術集会貸与	100,000	100,000	0	
2 諸経費	55,000	38,800	16,200	郵送費他
II 会議費	30,000	14,789	15,211	理事会 4 回、評議会 1 回、交通費等
III 編集委員会活動費	510,000	515,000	0	
1 郵送費	15,000	15,010	▲ 10	
2 印刷費	420,000	420,000	0	
3 事務費	20,000	13,209	6,791	
4 会誌郵送費	45,000	62,781	▲ 17,781	
5 会議費	15,000	4,000	11,000	
IV 広報委員会活動費	80,000	16,758	63,242	
1 郵送費	32,000	0	32,000	
2 事務費	48,000	16,758	31,242	
V 総務委員会活動費	335,000	89,591	245,409	
1 郵送費	20,000	51,780	▲ 31,780	選挙の都合上、次年度会費請求書を年度末に発送
2 封筒作成費	70,000	0	70,000	
3 印刷費	150,000	0	150,000	
4 事務費	80,000	22,962	57,038	
5 会議費	15,000	14,849	151	
VI 予備費	468,084	8,998	459,086	選挙管理委員会
支出合計 (B)	1,583,084	783,936	799,148	
次年度繰越金 (C)=(A)-(B)	0	2,463,656	865,360	
総合計 (B) + (C)	1,583,084	3,247,592	1,664,508	

平成 21 年度決算報告について監査を行い、会計帳簿、証書類を照合調査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。

監事

川野 良子

2010 年 4 月 30 日



小川 悦代

2010 年 4 月 30 日



平成 23 年度事業計画案

1. 第 7 回学術集会開催
2. 学会誌第 7 巻の発刊
3. 広報活動の推進
4. 事務処理の円滑化と会員確保

平成 23 年度 東京女子医科大学看護学会各委員会活動計画

編集委員会

1. 東京女子医科大学看護学会誌（第 7 巻第 1 号）の発刊
2. 投稿論文増加への取り組み
3. 東京女子医科大学学術リポジトリ等への登録

広報委員会

1. 第 7 回学術集会の案内と、学会加入の増員を目指し学会の PR 活動
2. ホームページの更新・管理
3. 学会員を対象としたニュースレターを年 2 回発行
4. 広報活動として看護研究を支援する企画・運営を行う

総務委員会

1. 会員名簿管理
2. 卒業生、修了生、認定修了生他、新規会員獲得に向けた勧誘活動
3. 理事会の開催準備と運営
4. 評議員会開催準備と運営
5. 総会開催準備（総会案内・総会出欠通知確認）と運営
6. 総務委員会記録の管理
7. 平成 22 年度会計報告書作成
8. 平成 23 年度予算執行管理
9. 平成 24 年度予算案作成

東京女子医科大学看護学会平成 23 年度予算案

自 平成 23 年 4 月 1 日
至 平成 24 年 3 月 31 日

収入の部

(単位：円)

項目	22 年度予算額	23 年度予算額	備考
I 会費	1,160,000	1,160,000	
1 会員会費	1,120,000	1,120,000	年会費 5,000 円× 200 名 =1,000,000 入会金 3,000 円× 40 名 =120,000 2 口
2 賛助会員会費	40,000	40,000	
II 雑収入	50,000	50,000	
1 利子収入	0	0	学術集会貸与より返金
2 学会誌販売	0	0	
3 その他	50,000	50,000	
III 前年度繰越金	468,084	388,084	
計	1,678,084	1,598,084	

支出の部

項目	22 年度予算額	23 年度予算額	備考
I 総会費	155,000	155,000	
1 学術集会貸与	100,000	100,000	郵送費、総会垂れ幕代他
2 諸経費	55,000	55,000	
II 会議費	50,000	50,000	理事会 4 回、評議会 1 回、 交通費
III 編集委員会活動費	545,000	545,000	
1 郵送費	15,000	15,000	
2 印刷費	450,000	450,000	
3 事務費	20,000	20,000	
4 会誌郵送費	45,000	45,000	
5 会議費	15,000	15,000	
IV 広報委員会活動費	165,000	165,000	
1 郵送費	48,000	48,000	80 円× 200 人× 3 回 = 48,000 ニュースレター印刷代 ランチョンセミナー代
2 事務費	42,000	42,000	
3 会員支援活動費	60,000	60,000	
4 会議費	15,000	15,000	
V 総務委員会活動費	335,000	335,000	
1 郵送費	20,000	35,000	
2 封筒作成費	70,000	55,000	
3 印刷費	150,000	150,000	
4 事務費	80,000	80,000	
5 会議費	15,000	15,000	
VI 選挙委員会活動費	40,000	0	
VII 予備費	388,084	348,084	
計	1,678,084	1,598,084	

東京女子医科大学看護学会 評議員選挙 結果報告

東京女子医科大学看護学会選挙管理委員会

1. 実施内容

1) 告示

東京女子医科大学看護学会誌第 5 巻第 1 号にて告示を行った。

2) 選挙人数

選挙権を有する学会員は 87 名であった。

3) 被選挙人数

被選挙権を有する学会員は 72 名であった。

4) 選挙日程

5 月 7 日 選挙人に投票用紙を送付

5 月 30 日 投票締め切り

6 月 8 日 開票

2. 開票結果

1) 投票数

投票者数 45 名 (投票率 51.7%)、投票数は 765 票であった。うち、有効投票数 680 票、無効投票数 85 票 (うち白紙票 78) であった。

2) 当選者名 (17 名、五十音順、敬称略)

會田信子

嵐 弘美

白井雅美

海老澤陸

小川久貴子

掛本知里

加藤京里

佐伯香織

坂井志麻

佐藤とみ子

竹内道子

田中美恵子

寺町優子

服部真理子

野崎律子

山内典子

山田咲樹子

3) 立会人

佐伯香織総務委員の立会の下に行った。

4) 当選者の許諾

当選人 17 名より許諾の連絡を受けた。

以 上

東京女子医科大学看護学会新評議員

(五十音順・敬称略)

	氏名	所属
1	會田信子	名古屋大学医学部保健学科
2	嵐弘美	東京女子医科大学看護学部
3	臼井雅美	横浜市立大学医学部看護学科
4	海老澤陸	北里大学看護学部
5	小川久貴子	東京女子医科大学看護学部
6	掛本知里	東京有明医療大学看護学部
7	加藤京里	東京女子医科大学看護学部
8	佐伯香織	前東京女子医科大学看護学部
9	坂井志麻	東京女子医科大学看護学部
10	佐藤とみ子	川口市立医療センター
11	竹内道子	東京女子医科大学看護学部
12	田中美恵子	東京女子医科大学看護学部
13	寺町優子	西武文理大学看護学部
14	服部真理子	東京女子医科大学看護学部
15	野崎律子	東海大学健康科学部看護学科
16	山内典子	東京女子医科大学病院
17	山田咲樹子	東京女子医科大学病院

平成23年4月1日～平成26年3月31日

東京女子医科大学看護学会 理事・監事選挙 結果報告

東京女子医科大学看護学会選挙管理委員会

1. 実施内容

1) 選挙人数

選挙権を有する評議員は 17 名であった。

2) 被選挙人数

被選挙権を有する評議員は 17 名であった。

得票順に上位 6 名を理事、次点 2 名を監事として選出した。

3) 選挙日程

6 月 24 日 選挙人に投票用紙を送付

7 月 7 日 投票締め切り

7 月 14 日 開票

2. 開票結果

1) 投票数

投票者数 14 名 (投票率 82.4%)、投票数は 112 票であった。

うち有効投票数 111 票、無効投票数 1 票 (うち白票 0) であった。

得票数が同数の場合は、厳正な抽選により当選順位を決定した。

2) 当選者名 (五十音順、敬称略)

理事

嵐 弘美

海老澤 陸

小川 久貴子

掛本 知里

田中 美恵子

服部 真理子

監事

佐藤 とみ子

竹内 道子

3) 立会人

佐伯香織総務委員の立会の下に開票作業を行った。

4) 当選人の許諾

理事当選人 6 名、監事当選人 2 名より許諾の連絡を受けた。

東京女子医科大学看護学会新理事

(五十音順・敬称略)

(◎：理事長、○：副理事長)

	氏名	所属
1	嵐 弘 美	東京女子医科大学看護学部
2	海老澤 陸	北里大学看護学部
3	○ 小 川 久貴子	東京女子医科大学看護学部
4	掛 本 知 里	東京有明医療大学
5	◎ 田 中 美恵子	東京女子医科大学看護学部
6	服 部 真理子	東京女子医科大学看護学部

平成 23 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

東京女子医科大学看護学会新監事

(五十音順・敬称略)

	氏名	所属
1	佐 藤 とみ子	川口市立医療センター
2	竹 内 道 子	東京女子医科大学病院看護部

平成 23 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

東京女子医科大学看護学会 個人情報保護方針

2006年7月3日 (理事会承認)

東京女子医科大学看護学会(以下、本学会と略す)は、会員の個人情報についてその重要性を認識し、個人情報の適切な収集・利用・安全管理に務めます。

個人情報の収集

個人情報の収集に際しては、本学会に定めた事業と目的に沿ったサービスの提供などのために必要な範囲においてのみ、本人の同意に基づく適切な方法で収集します。

個人情報の利用および提供

収集した個人情報は、業務遂行と会員サービスへの反映のために、次の利用目的の範囲に限り使用します。

- 1) 入会・会員情報の更新・退会手続き
- 2) 学術集会・総会・学会催しの案内、学会誌・ニュースレターの発送
- 3) 年会費請求書などの送付
- 4) 学会が行う調査票やアンケートの発送
- 5) その他、学会が発信する情報の発送

収集した個人情報は、次の場合を除き第三者に提供することはありません。

- 1) 法令に基づく場合
- 2) 本人の同意がある場合
- 3) 個人情報の保護・管理に関する契約を結んだ外部要員に預託する場合

個人情報の管理

本学会が収集した個人情報は、紛失、破壊、改ざん、漏えいなどを防止するため適正に管理します。個人情報を入力している端末は、外部からの不正アクセスを防ぐためインターネットに接続していません。

本学会の保有する個人情報は、利用目的に応じて正確かつ最新の内容に保つよう努めます。

業務の一部を外部要員に預託する場合、個人情報の保護、および適正な取り扱いに関する契約を結ぶことにより、安全管理措置を遵守いたします。

個人情報の開示および訂正等

本学会が保有する個人情報について、その情報提供の本人から開示および変更・訂正・削除を求められた場合は、適切な本人確認の手続きを経たうえで遅滞なくこれに応じます。

個人情報保護の維持および改善

本学会は、法令の変更その他の理由を考慮し、個人情報の保護、管理が適正に行われるよう見直し、改善に努めます。

個人情報の確認・問い合わせ

東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学看護学部内
東京女子医科大学看護学会
FAX: 03-3341-8832

東京女子医科大学看護学会理事名簿

(五十音順・敬称略)

(◎：理事長、○：副理事長)

	氏名	所属
1	尾岸 恵三子	日本赤十字秋田看護大学
2	鎌倉 里美	東京女子医科大学東医療センター看護部
3	○ 久米 美代子	東京女子医科大学看護学部
4	佐藤 紀子	東京女子医科大学看護学部
5	◎ 水野 敏子	東京女子医科大学看護学部
6	柳 修平	東京女子医科大学看護学部

平成 20 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

東京女子医科大学看護学会監事名簿

	氏名	所属
1	小川 悦代	東京女子医科大学看護専門学校
2	川野 良子	東京女子医科大学病院看護部

平成 20 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

東京女子医科大学看護学会評議員名簿

(五十音順・敬称略)

	氏名	所属
1	會田信子	名古屋大学医学部保健学科
2	伊地知淑子	東京女子医科大学東医療センター看護部
3	小川悦代	東京女子医科大学看護専門学校
4	尾岸恵三子	日本赤十字秋田看護大学
5	金井 Pak 雅子	東京有明医療大学
6	鎌倉里美	東京女子医科大学東医療センター看護部
7	川野良子	東京女子医科大学病院看護部
8	久米美代子	東京女子医科大学看護学部
9	佐藤紀子	東京女子医科大学看護学部
10	諏訪茂樹	東京女子医科大学看護学部
11	高坂美枝	東京女子医科大学八千代医療センター看護局
12	寺町優子	西部文理大学看護学部
13	久田満	上智大学総合人間科学部心理学科
14	松壽英士	東京女子医科大学看護学部
15	水野敏子	東京女子医科大学看護学部
16	山元由美子	東京女子医科大学看護学部
17	柳修平	東京女子医科大学看護学部

平成20年4月1日～平成23年3月31日

平成 22 年度 東京女子医科大学看護学会委員会委員名簿

(敬称略)

(◎：委員長)

	氏名	所属
編集委員会	◎柳 修平	東京女子医科大学看護学部
	木村 みどり	東京女子医科大学看護学部
	小山 達也	東京女子医科大学看護学部
	竹内 千鶴子	東京女子医科大学八千代医療センター看護局
	山内 典子	東京女子医科大学看護学部
広報委員会	◎鎌倉 里美	東京女子医科大学東医療センター看護部
	太田 祐子	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科
	尾岸 恵三子	日本赤十字秋田看護大学
	佐藤 たき子	東京女子医科大学病院看護部
	諏訪 茂樹	東京女子医科大学看護学部
総務委員会	◎佐藤 紀子	東京女子医科大学看護学部
	坂井 志麻	東京女子医科大学看護学部
	櫻田 章子	東京女子医科大学看護学部
	竹内 道子	東京女子医科大学看護学部

東京女子医科大学看護学会誌 投稿規程

1. 投稿資格

投稿者は著者および共著者を含め本学会会員および準会員（賛助会員を除く）に限る。但し、編集委員から依頼された原稿はこの限りではない。

2. 投稿論文の受理・採択

- 1) 受理した原稿は返却しない。
- 2) 投稿論文の採否の決定は編集委員会がこれにあたる。ただし、専門領域に応じて適切な第三者に査読を依頼し、その結果を参考とする。

3. 原稿の種類

- 1) 原稿の種類は以下の5種類とする。

【総説】ある主題に関連した研究文献等をレビューし、当該主題について総括的に概説し、見解を述べたもの。

【論説】ある主題に関連した論述、展望、提言。

【研究論文】独創的で、新しい知見が論理的に示された研究成果で、学術的な意義が明らかであるもの。

【資料】上記の分類に該当しない調査、実験、事例、実践の報告、および資料等で、本学会員の研鑽に資するもの。

【その他】本会の目的に合致する見解等で、編集委員会が適当と認めたもの。

- 2) 投稿論文は未発表のものに限る。

4. 倫理的配慮

人を対象とした論文は、東京女子医科大学倫理委員会規程ならびに遺伝子解析研究に関する倫理審査委員会規程に則って行われた研究であり、また動物を用いた研究は本学動物実験倫理委員会規程を遵守して行われた研究でなければならない。なお、本学以外で行われた研究の場合は、これに準ずるものとする。

5. 投稿手続

- 1) 投稿原稿は、プリントアウトしたものを、3部（正1部、副2部）送付する。

- 2) 査読が終了した時点で、速やかに3.5インチのフロッピー・ディスクにテキスト形式で保存し、プリントアウトしたものと同時に提出する。

- 3) 原稿は封筒の表に「東京女子医科大学看護学会誌原稿」と朱書し、下記に書留郵送する。
〒162-8666

東京都新宿区河田町8-1 看護学部内
東京女子医科大学看護学会編集委員会

6. 執筆要領

- 1) 原稿はA4判横書きで、1行文字数を全角35字、1ページの行数を28行（約1000字）とする。

- 2) 投稿論文は、図表を含め以下の枚数以内とする。

総説 12枚以内（12,000字）

論説 10枚以内（10,000字）

研究論文 16枚以内（16,000字）

資料 12枚以内（12,000字）

その他 8枚以内（8,000字）

- 3) 原稿には表紙をつけ、以下を記す。

表題、英文表題（すべて大文字とする）、著者名（ローマ字とも）、所属機関名（英文名とも）、図・表および写真等の枚数、キーワード（日本語、英語各々4語程度）、希望する原稿の種類、別刷必要部数、著者全員の会員番号、連絡先住所、電話番号およびFAX番号、E-mailアドレス。

- 4) 図・表および写真は、それぞれ通し番号を付け、本文とは別に一括し、本文原稿右欄外に、挿入位置を朱書きする。

- 5) 原稿はなるべく当用漢字、新かなづかいとし、外国語はカタカナで、外国人名、日本語訳が定着していない学術用語は、原則として活字体の原綴りで書く。

- 6) 文献記載の様式は以下の通りとする。

(1) 本文中に著者名、発行年次を括弧表示する。

(2) 文献は本文末尾に著者名のアルファベット順に列記する。共著者は3名まで表記する

こととする。

【雑誌掲載論文】

著者名（発行年次）：論文表題，掲載雑誌名，号もしくは巻（号），最初のページ数－最後のページ数。

【単行本】

著者名（発行年次）：書名（版数），出版社名，発行地。

著者名（発行年次）：論文表題，編者名，書名（版数），ページ数，出版社名，発行地。

【翻訳書】

原著者名（原書の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）：翻訳書の書名（版数），出版社名，発行地。

7) 研究論文希望の場合には、300words 前後の英文抄録ならびに 800 字以内の和文抄録を付ける。英文抄録は、表題、著者名、所属、本文の順に記載する。

7. 著者校正

著者校正は 1 回までとする。大幅な加筆、修正は認められない。

8. 著作権

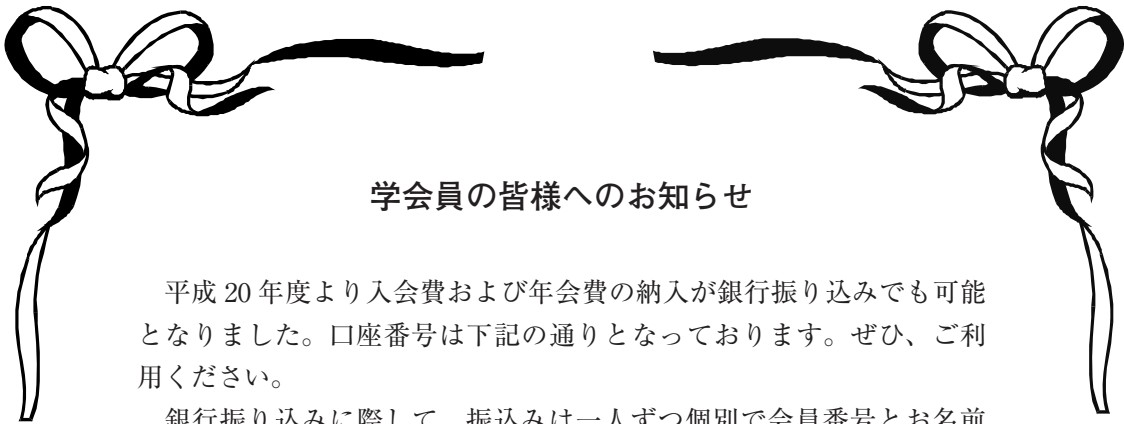
著作権は本学会に帰属する。

9. 著者が負担すべき費用

- 1) 掲載料は原則として無料とする。
- 2) 別刷料 別刷はすべて実費を著者負担とする。
- 3) その他 図表等、印刷上特別な費用を必要とした場合は、著者負担とする。

10. 投稿締切

原則として毎年 9 月 10 日を締切とする。但し、当日が休日にあたる場合はその前日を締め切りとする。



学会員の皆様へのお知らせ

平成 20 年度より入会費および年会費の納入が銀行振り込みでも可能となりました。口座番号は下記の通りとなっております。ぜひ、ご利用ください。

銀行振り込みに際して、振込みは一人ずつ個別で会員番号とお名前の入力をお願いいたします。数人でまとめて入金された場合は、振込み代表者の入金の扱いとさせていただきます。また、入会費および数年間の年会費が未納の場合、最も古い年度から入金済みの扱いとさせていただきます。

なお、郵便振込みも従来どおりにご利用いただけます。

年会費のスムーズな運営にご協力ください。

口座番号

三菱東京 UFJ 銀行 東京女子医大出張所

(普通) 口座番号 1051242

東京女子医科大学看護学会

◆編集後記

東北地方太平洋沖地震により会員の皆様や関係の方々も多く被災されたことと存じます。心よりお見舞い申し上げます。第6巻は総説、論説、研究論文、資料と数多くの研究成果を載せることができました。投稿された会員の皆様や熱心に査読をして頂いた皆様、および校正に頑張ってもらった編集委員会委員の皆様に感謝します。本誌は医中誌に登録され、学術リポジトリで公開され、全世界の研究者が活用できます。論文投稿の際は、投稿規定を必ず読んでください。形式の緻密さは内容の豊かさに大きく作用します。目的・方法・結果と考察への流れや、図表の構成などの細部にも配慮し、インターネットを介して検索し活用する研究者に親切な論文をより一層期待しています。次年度から編集委員会は新体制が始まります。3年間、ありがとうございました。

(R.S)

今回の学会誌は多岐にわたった分野からの投稿があり、大変よかったですと思います。年ごとに、内容が充実してきているのを感じます。

木村みどり

今年度も皆様のお力により学会誌が発行できたこと嬉しく思います。投稿された論文を読み、日々私たちが実践している看護が言語化されることの深みに面白さを感じました。更なる学会の発展に向け、皆様と共に取り組んでいきたいと思えます。また、発行直前に発生した大規模地震により被害を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、この学会誌で、皆様に元気の源をお送りできたらと思えます。

竹内千鶴子

今巻には学会誌発行後もっとも多くのご投稿をいただき、大変うれしく思っております。誠にありがとうございました。今後、学会誌を学術雑誌としてより質の高いものへと発展させていくために、編集委員一同さらに尽力していきますので、皆様のご協力をいただけますようお願い申し上げます。

また、看護に還元されるような貴重な実践・研究成果をできるだけ多く公表する責任があると自負しております。今後も多くの会員の皆様方からのご投稿を編集委員一同、心よりお待ちしております。

山内典子

多くのご投稿をいただきありがとうございました。さまざまな論文が掲載されたことを嬉しく感じております。今後も皆様からの投稿をお待ちしております。

小山達也

編集委員会：

委員長 柳 修平

委員 木村みどり 小山 達也
竹内千鶴子 山内 典子

東京女子医科大学看護学会誌
第6巻 第1号

2011年3月31日

発行者：東京女子医科大学看護学会
東京都新宿区河田町8-1
電話03(3353)8111(代)

印刷・製本：協和印刷工業株式会社
東京都目黒区原町1-15-14
電話03(3793)2531(代)